

のべ126人のボランティアで 2トンの食品を届けました!

今年の夏休みのフードバンクは、古志原小学校と第四中学校の児童、生徒の就学援助を受ける86世帯317人の家族に利用がひろがりました。

給食のない夏休みがはじまる7月22日と8月19日の2回の取りくみでは、発送準備に古志原民生児童委員協議会や学校関係者をはじめ、勤め帰りの方々も加わり、のべ126名のボランティアが参加しました。

レトルトカレーや焼きうどんなど、お母さんたちがいない昼ご飯が子どもたちだけで準備できるよう食品を取り揃えました。子どもたちに人気のお菓子類もたくさん入り、お米とあわせて家族数によって10キロ、15キロ詰めの食品を荷造りしました。

ボランティアからは、ひとつひとつの家庭にメッセージカードを添えて届けました。



子ども食堂、寺子屋のご案内も...

今回、夏休み2回のフードバンクでは、お米約1.3トンなど2トンを超える食品を準備。あわせて、古志原公民館に受け取りに来られる方々には、公民館の畑で採れた新鮮なトマトや野菜を添えることができました。



また、子ども食堂や寺子屋(学習支援)、無料・低額診療事業(無料または低額受診制度)や就労相談など、あったか元気便の構成団体が取り組んでいるさまざまな暮らしをささえるサポートの取り組み利用の案内も同封しました。

今年度のフードバンクは、夏休み、冬休みに加え春休みの年4回の予定です。

みんなで2kg、3kgのお米を寄せ合って

フードバンク事業を支える募金やお米などの食品は、会の構成団体の1,400人を超える組合員や職員のみなさんなどから寄せられました。

この間の募金総額は1,152,262円(9月11日現在)となりました。また、JAしまねくにびき地区本部、松江保健生協、生協しまね、グリーンコープなどの組合員から、約1.5トンのお米や食品が寄せられました。

このうち、松江保健生協の千酌支部(生協組合員の地域組織)では、「支部の運営委員会で、“みんなで募金とお米に協力しよう”と話し合い、運営委員で手分けして12人から地元でできたお米をそれぞれ2kg、3kgを寄せ合いあいました。募金も42人の協力を得ました」と、支部長の青木さんが取り組みを話してくださいました。



松江市長さんと懇談!
マージルテレビ「まちかどトーク」
 8月29日、古志原公民館で、松江市長とあったか元気便の竹谷強代表らメンバー5人との「まちかどトーク」が収録されました

ボランティアさん募集中!
 冬休み、春休みのパッキング・発送作業は下記を予定しています。お問い合わせ・お申し込みは、地域つながりセンターまで...



今年度の事業を支えるには、お米は約3トン、経費は約200万円が必要となる見込みです。引き続き、多くの皆様からのご支援をお願い致します。

なお、お米は玄米で、できるだけ新米を、古米(昨年のもの)の場合は冷蔵庫保管されカビ臭のしないものをお願い致します。



12/20(金)、3/17(火)
 午後6時受付開始
 いきいきプラザ体育館にて



【お問合せ】 あったか元気便事務局

☎ 0852-67-3088 (地域つながりセンター内)
 メールアドレス: attakagenkibin@gmail.com

こんなメッセージが届きました

長期休暇中、どうしても食費がかかりますし、お弁当にないのでお米をすく使うので、お米は本当に助かりました。お菓子やたくさんの食事に役立つものを頂いて感謝の気持ちでいっぱいです。毎回、一言のお手紙を添えて下さるのも、読んでとても温かい気持ちになります。本当にありがとうございました。(2児のお母さん)

あまりにも大きい段ボールで重量もあり、何が届いたんだろうと家族中集まり、開封するとたくさんの食べ物。そしてその上に置いてあるメッセージに感動し、子供と「すごーい！ ありがたいね、感謝だね」と胸があったかくなりました。各家庭にメッセージを入れられ、しかも我が家向けのお言葉、ありがとうございます。おかげさまで夏を乗り切ることが出来ました。

仕事から帰った夕方、自宅にダンボールが届いており、夏休中の息子と一緒に開けました。沢山の食品にお菓子 びっくりしました。朝から夕方まで働いて、夕飯に迷っていると、あっという間に20時になることもあります。レトルトを時には使い、楽をさせてもらって…おいしい、助かります。底にお米があるのを見た時は、嬉しくて涙が出ました。手作りをなるべく心がけていますが、本当に疲れた時に頼らせてもらいます！

子供たちも楽しみにしていて、届いたらすぐにお菓子を確認し、兄弟で話し合って分け合っていました。この度、四中在学中にも元気が拡大されたとのことで、育ち盛りになる中学生になってもこんなサービスがあったらいいのにねと話していたので大変うれしいです。

初めてこの活動を知り、利用させていただきました。大きなダンボールが届いた時は、びっくりしました。子供たちと楽しく開けさせていただきました。本当にありがとうございました。この活動に感謝します。

とくに、お米は重量もあり、車を持っていない私には買い物も大仕事です。そんな折、箱いっぱい食品が届き、とても安心しました。子供たちも「お菓子だー」と大喜び。昼ご飯にも自分たちでレトルトをあたためたり、インスタントラーメンを作ったりして食べています。メッセージも同封してくださり、子供たちも順番に読んで喜んでおりました。



好きなお菓子とかも入ってたし、お母さんがお昼ご飯の用意しなくても済んで、朝一緒にゆっくりできて、よかったです。おいしいものがたくさん入って嬉しかったです。(中学生)



いつもたくさんのおかしや食べ物をありがとうございます。弟も自分もおかしが大好きなので、おかしはすぐになくなってしまいます。また、おかしがいっぱいはいっていたらいいと思いました。(中学生)



お米を消費するのが早い夏休みに、10キロ分も頂けて大変助かりました。4階に住んでいてお米を持って上がるのが辛いので、そういう意味でもありがたかったです。1回目の段ボールの中に手書きのメッセージが入っており、とても嬉しかったです。1人でがんばっていましたが、味方がいるような気持ちになりました。

子供と一緒に開封させていただきました。すぐに使えるものもあり、本当に嬉しかったです。また、多くの方に支えて頂いていると実感させてもらえました。

【参加団体】

JAしまね、島根県労働者福祉協議会、生活協同組合しまね、グリーンコープ生協(島根)、松江保健生活協同組合 地域つながりセンター



【賛助会員のみなさま】(9月20日現在)
中国労金島根県営業本部、連合島根、
こくみん共済coop 島根推進本部
島根県生協連、山陰温調工業株式会社
松栄印刷有限会社、明和印刷有限会社
リコージャパン株式会社島根支社、
大学前のつ内科クリニック、(株) マース

ありがとう
ございました!